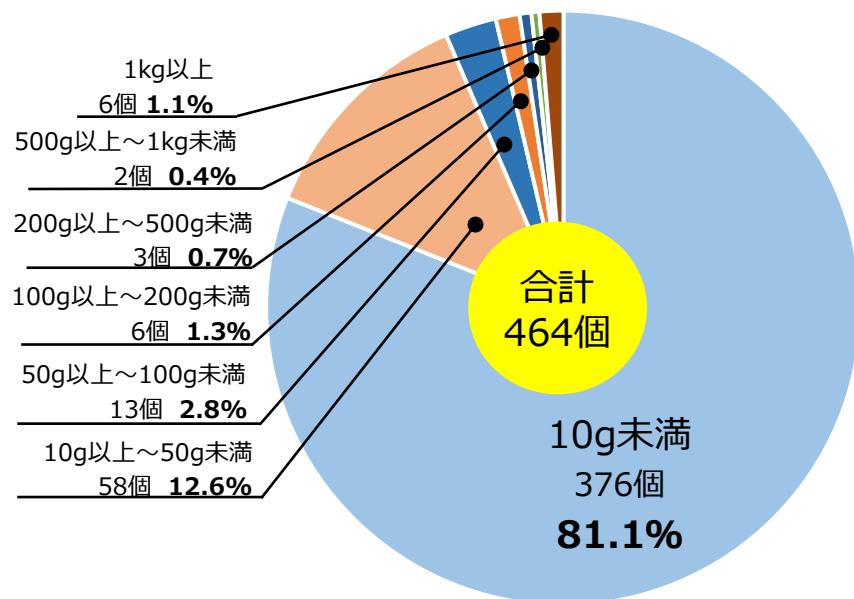


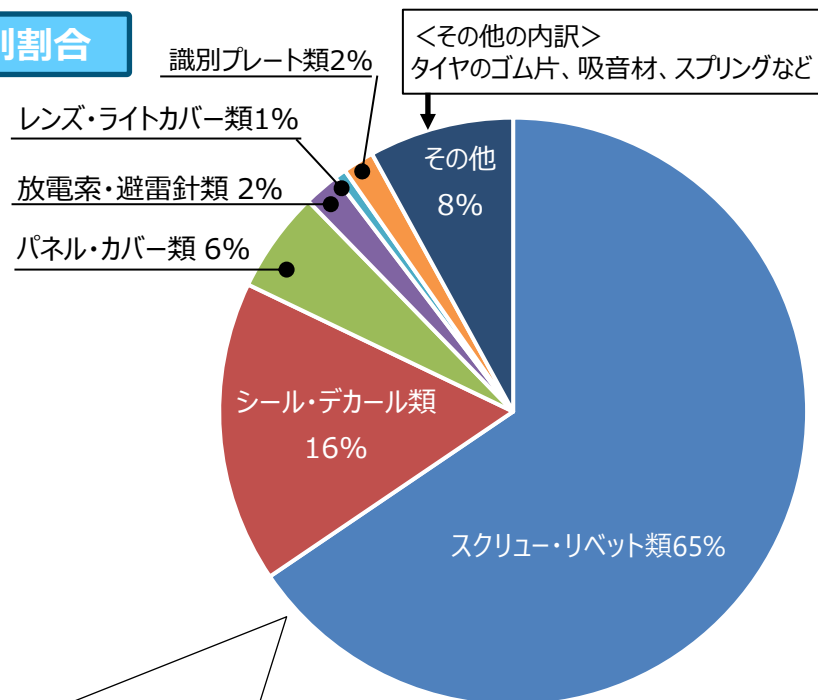
2026年3月～2026年5月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2026年3月～2026年5月に報告された欠落部品の総計は464個であり、そのほとんどは100g未満で、約8割が10g未満である。(前年度同期間は392個)
- また、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策(欠落部品の多数を占める10g未満の部品を含む。)が進められている。

重量別割合



部品別割合



部品欠落の例



リベット(1.3～2cm)

スタティックディスチャージャー
(放電索)

- 部品欠落報告の約7割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1g～180g程度のもものがほとんど
- シール・デカル類の材質はアルミニウム、プラスチック等であり、重さは1g～200g程度
- パネル・カバー類の材質はアルミニウム、プラスチック等であり、重さは1g～200g程度
- 放電索・避雷針類の材質はアルミニウム、複合材等であり、重さは1g～40g程度
- レンズ・ライトカバー類の材質はガラス、プラスチック等であり、重さは10g～800g程度
- 識別プレート類の材質は金属、プラスチックであり、重さは1g～30g程度